

日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 畑中 久明 発行所 日本高齢期運動連絡会
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5 シャンボール中野 504 号
TEL/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com
<http://www.nihonkouren.jp>

No.369
発行 2025 年 3 月 20 日

第 38 回日本高齢者大会 in さいたま



記念講演講師

芝田英昭さん

社会保障研究者・水彩画家
(立正大学教授・博士)

1958 年福井県敦賀市生まれ。著書に『社会保障のあゆみと協同』2022 年、『医療保険「一部負担」の根拠を追う』2019 年、『新版 基礎から学ぶ社会保障』2019 年、『高齢期社会保障改革を読み解く』2017 年、編著に『検証 介護保険施行 20 年—介護保障は達成できたのか』2020 年、『歴史に学ぶ生命の尊厳と人権』2024 年、共に自治体研究社。

第1回中央実行委員会を開催(3月10日)

第 38 回日本高齢者大会の第 1 回中央実行委員会が 3 月 10 日(月)に開かれ、大会名称、大会日程、記念講演講師、大会スローガン、大会予算(参加費)を討議しました。第 38 回大会は中央団体と首都圏 4 県連(東

京、埼玉、千葉、神奈川)が実行委員会を組織して開催します。今回はその第 1 回会議です。実行委員会では以下のことを確認しました。

◇大会名称:「第 38 回日本高齢者大会 in さいたま」

◇大会日程・会場

1日目 11月11日(火) 午後 分科会、学習講座、移動教室 など

会場 大宮ソニックシティ 小ホール・会議室・市民ホール

2日目 11月12日 午前 全体集会

会場 大宮ソニックシティ 大ホール

*アクセス JR大宮駅西口徒歩3分

◇大会参加目標:現地参加延べ3000人、オンライン参加延べ800人

大会スローガン・大会予算・参加費は第2回中央実行委員会総会4月19日(土)で決定します

第1回中央実行委員会の討議

(大会スローガン・大会開催の意義)

提案「大軍拡NO！社会保障充実で 全ての世代の人権が尊重される 希望ある社会をめざそう」

意見「分断を意図的につくられている、世代ではなく『年齢』という言葉のほうがよい」「社会保障をもっと身近で具体的な表現にしたい。『ケアが大事にされる』など」

「大会開催の意義にジェンダー問題を位置づける、国連人権理事会の勧告を実現していく共同を広げていこう」「政治情勢は大きく変化している。要求を実現していく大きなチャンス」「語りつぐことが大切になっている」「自己責任、受益者負担など、ガマンを強いる、社会になっている。本来、人として生きる上で当たり前のことがそうっていないことが問題」「若者も将来に展望をもてなくなっている、そんな社会をかえていくこと」

(企画について)

企画担当者が2回会議をもち魅力ある大会・・喜び、楽しみ、わくわくする、元気のぞる大会をめざしている。講座・分科会

に入りたいテーマは「高齢者の人権を守れ」「社会保障の自己負担を減らし、無くす」「高齢期の地域の運動」「介護問題」「年金問題の現状と課題」「平和・核なき世界をどう実現するか」「政治・経済の問題」「生活保護」「就労」「地球環境」「防災」「認知症」「加齢性難聴」「住まい」「移動・地方自治体」「社会保障の運動」「文化活動」など

(意見) 原発問題をテーマにした企画を入れてほしい

(大会予算・参加費)

日本高連の運営費、次回大会の準備費を確保するため大会収支として100万円を確保する。収支も考慮して参加費は決める。首都圏4県連の費用負担を考慮した協賛募金の還元を検討する

費用削減として「学習講座・分科会のオンライン配信は自前で行う」「大会参加しおりの掲載内容を減らす」

協賛募金と会場募金の扱い

オンラインは会場をつくり参加を募るなど、参加者数を増やす努力をする。

大会会場案内



新幹線:東北新幹線・山形新幹線・秋田新幹線・北海道新幹線の東北系統と上越新幹線・北陸新幹線の上越系統の合計 6 新幹線・JR 在来線は京浜東北線・宇都宮線・高崎線・埼京線・川越線



2024 年度 第 21 回茨城県高齢者大会 in 水戸に 150 人参加

茨城県高齢期運動連絡会

2025 年 3 月 1 日（土）セキショウ・ウェルビーイング福祉会館にて「2024 年度 第 21 回茨城県高齢者大会 in 水戸」を開催し、約名 150 名が参加しました。午前中は、「介護・医療」、「年金」、「原発」の 3 つをテーマにした分科会を開催しました。



第 1 分科会では、はじめに全日本民医連の林事務局次長を招き、介護保険制度の現状として、制度開始時より利用者が 3 倍に増え、多くの方の生活を支えていることと、一方で制度維持のための保険料の値上げとサービスの削減が続き、保険あって介護なしの状態が続いていることを学びました。後半は、介護事業等を実践している団体の方から年々市民の負担が増えている実態について共有されました。第 2 分科会では年金の現状について確認したうえで、参加した多くの当事者間で課題や悩みを共有しました。第 3 分

科会では元日本原子力研究開発機構研究員の岩井孝氏を招き専門家の視点で再稼働の問題点について学習しました。特に作成が進んでいる避難計画は 30km 圏内と狭いことや現在の規制基準は再稼働のための基準であること、日本原子力発電は 2012 年以降発電量 0 のなか電気代として約 1,000 億円をうけとりそれが国民の負担に転化されていること、この電気代収入が無いと経営が成り立たないため、廃炉ができないことなどが共有されました。



午後の全体会は大正琴の演奏とウズベキスタンダンスで盛大に開会し、記念講演には前進座の女形、河原崎國太郎さんを招き「生活に根づく、歌舞伎の世界」と題して講演頂きました。歌舞伎の始まりについて、そもそも女性が演じており、庶民の娯楽ではなく侍の娯楽で男装して踊る女性を「傾奇者」といい、そこから歌舞伎となったことや、風紀の乱れを理由に女性、若い男性が舞台に上がることを江戸幕府に禁じられ今の歌舞伎、野郎歌舞伎が始まるまったことなどの歌舞伎の歴史や規制をかいくぐりながら幕府や武家の批判などの演題も生まれるなど今でいうワイドショー的な娯楽として生活に根付いていたことを話していただきました。

（茨城県高齢期運動連絡会 山川秀樹）

第 34 期(2025 年度)日本高齢期運動連絡会定期総会
第 38 回日本高齢者大会第 2 回中央実行委員会総会

【日 時】2025 年 4 月 19 日(土) 10 時 30 分～15 時 00 分(予定)

議題

定期総会

第一号議案 第 33 期のまとめ・第 34 期のとりくみ

第二号議案 33 期決算報告・監査報告

第三号議案 34 期予算案

第四号議案 役員体制

第 2 回中央実行委員会総会

開催要綱・企画・

予算

学習企画を検討する予定です

【会 場】東京都生協連 3 階会議室+Web システム併用

*ZOOM情報は後日お知らせします



第 37 回 日本高齢者大会
in あいち報告集
販売中

1冊 1,000 円(送料・税込)
申し込みは日本高連へ

日本高齢期運動連絡会

〒164-0011

東京都中野区中央 5-48-5-504

Tel・fax 03-3384-6654

E-MAIL nihonkouren@nifty.com